



実物の写真資料を元に、弊社で復元したもの。



スペイン現地にある実物の全容。



日吉屋通信



「ダリの和傘」をメインで制作した、竹澤 幸代(たけざわ さちよ / 伝統工芸部所属) 会場では5代目西堀とともに多くの取材陣に囲まれ、製作方法や難易度の高かった点などについてインタビューを受けました。

暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。日吉屋通信をお送りいたします。

「ダリの和傘」

日吉屋通信vol.1でご紹介した「ダリの和傘」の復元プロジェクトですが、およそ九カ月の製作期間を経て完成いたしました。

サルバドール・ダリ本人が実際に使用していたとされるこの傘は、直径約3mと、和傘の中でも最大クラスのもの。全面に桜の様な花模様が京友禅と思われる技法で描かれており、傘の内側も特殊な造りとなっております。復元は製作方法の検討から始まり、作成途中でも絵柄合わせを考慮した方法を再検証するなど、試行錯誤の連続でした。

六月三十日「ダリ展」関係者内覧会にて完成披露

今年、約十年ぶりに開催されるサルバドール・ダリの回顧展「ダリ展」開催前日、京都市美術館での記者説明会及び関係者内覧会の場で、完成披露をいたしました。

完成品は厳重に梱包され、今月出荷されます。

「ダリ展」ホームページ <http://salvador-dali.jp/>

お問合せ先：
 (株)日吉屋 日吉屋通信担当
 〒602-0072 京都市上京区百々町 546
 TEL :075-441-6644 / FAX:075-441-6645 / mail:info@wagasa.com
 web:http://www.wagasa.com